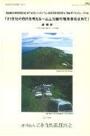
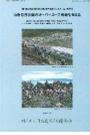
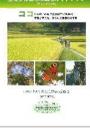
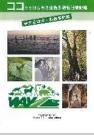
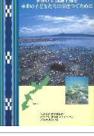


コード	タイトル	表紙画像	発行年	内容紹介	判型・ページ数	定価 (税込)	割引%	セール価格 (税込)
C-072	長良川河口堰事業の問題点 中間報告書		1990	日本自然保護協会・長良川河口堰問題専門委員会が出した中間報告。これをもとに、協会は長良川河口堰建設の再考を求める意見書を建設省（当時）及び水資源開発公団に提出、その後の河川行政転換の契機となった。	B5判・133頁	4,180	76%OFF	¥1,000
C-076	長良川河口堰事業の問題点 第2次報告書		1992	1990年の中間報告書に続き、日本自然保護協会・長良川河口堰問題専門委員会が出した第二次報告書。	B5判・73頁	1,540	55%OFF	¥700
C-079	秋田県田沢湖町駒ヶ岳山麓イヌワシ調査報告書		1994	イヌワシのくらしぶりを指標とした森林生態系の保全が社会的に認知されるきっかけとなった、NACS-Jの独自調査のまとめ。活動の意義を理解して下さった方々からのご支援と日本イヌワシ研究会の専門性があってこそ実現した貴重な取り組みの記録でもある。	A4判・113頁	7,370	80%OFF	¥1,500
C-080	長良川河口堰事業の問題点-第3次報告- 長良川河口堰運用後の調査結果をめぐって		1996	川を上ろうと周辺海域から集まってきたアユ、汽水域でふ化し育つシラウオ、黒潮にのってほるばるたり着いたシラスウナギ…。研究者や市民グループが協力し、河口堰の建設と運用が長良川とそこにくらす生き物に与えた変化を調べ、堰運用の見直しを提言。	A4判・135頁	2,640	62%OFF	¥1,000
C-082	2005年愛知万博構想を検証する ～里山自然の価値と「海上の森」（改定版）		1999	2005年万国博覧会の開催候補地となった愛知県瀬戸市・海上の森について、生き物からみた自然の価値、地震・土砂災害の危険性など地形・地質の特徴を調べた結果と、それによってわかった土地利用上の問題点を指摘した意見・見解のまとめ。	A4判・209頁	3,300	70%OFF	¥1,000
C-083	利根川河口堰の流域水環境に与えた影響調査報告書		1998	長良川河口堰問題への取り組み実績を生かし、1971年に建設され30年近かった利根川河口堰が流域の水環境にもたらした変化や影響を調べ、河口堰事業のアセスメントやモニタリングのあり方を提言。	A4判・217頁	2,200	55%OFF	¥1,000
C-084	吉野川第十堰改築が自然環境に与える影響 ～吉野川第十堰改築事業環境アセスメントへの提言		1999	阿波の青石を石畳状に敷きつめて造られた自然と調和した古くからの堰を取り壊し、近代的な堰を新設するという計画に疑問を持った市民と連携し、計画が徳島県吉野川河口域の自然に与える影響を予測し、計画の見直しを提言。	A4判・92頁	2,640	62%OFF	¥1,000
C-085	長良川河口堰が自然環境に与えた影響		1999	河口堰の完成前から運用後まで5年間にわたり、複数のグループ・個人が協力して堰が川の自然に及ぼす影響や変化をモニターした結果の報告。どのような方法や体制で状況の変化を追いつけたらよいか、モニタリング調査のあり方の議論の記録でもある。	A4判・149頁	3,300	70%OFF	¥1,000
C-086	イヌワシ・クマタカの子育てが続く自然を守る 群馬県新治村・三国山系大型猛禽類生息状況報告		1999	スキーリゾートやダム建設から群馬県三国山系の水源を守ろうと、1991～1995年に地域の方々と一緒にイヌワシ・クマタカ生息状況調査のまとめ。	A4判・98頁	3,300	70%OFF	¥1,000

コード	タイトル	表紙画像	発行年	内容紹介	判型・ページ数	定価 (税込)	割引%	セール価格 (税込)
C-087	河口堰の生態系への影響と河口域の保全		2000	長良川では河口堰周辺でのモニタリング調査が5年を迎え、吉野川では長良川や利根川の経験が生かされないまま堰の改築計画が進められている中、河口堰に共通する科学的な知見と河口域の環境保全の重要性をとりまとめ、河川行政の見直しを求めた。	A4判・164頁	3,300	70%OFF	¥1,000
C-095	埋立事業が泡瀬干潟に与える影響と保全の提言 泡瀬干潟自然環境調査報告書		2007	国と沖縄県による埋立事業が進む沖縄島・泡瀬（あわせ）干潟で、2003～2004年に実施した自然環境調査のまとめ。	A4判・306頁	4,400	77%OFF	¥1,000
C-097	沖縄島北部東海岸における海草藻場モニタリング調査報告書		2007	普天間飛行場の移設計画に揺れる沖縄・辺野古（へのご）地域で、オーストラリアの「シーグラスウォッチ」を参考に2002年から行った「ジャングサウォッチ（市民参加型海草藻場モニタリング調査）」の結果をまとめた。	A4判・113頁	2,200	55%OFF	¥1,000
C-098	市民調査全国大会2010報告書		2011	市民自らが地域の自然を調べる「市民調査」の実践報告や、調査を保全対策に活かした事例などを収録。仲間を増やす工夫や現場のノウハウも多数紹介。	A4判・175頁	1,650	55%OFF	¥750
C-101	赤谷プロジェクトの歩み-第1期-本編		2014	群馬県みなかみ町・赤谷（あかや）の森における「赤谷プロジェクト」の2003～2010年の取り組みとその成果・課題を、プロジェクト関係者の分担執筆によりまとめた。	A4判・77頁	660	55%OFF	¥300
D-030	第1回 PRO NATURAヨーロッパ ヨーロッパアルプス自然保護研修 現地視察報告		1992	自然公園地域の自然保護と利用のあり方や、リゾート開発における山岳地帯の自然保護対策などについて研究するために、ヨーロッパアルプス高山帯の自然保護区（スイス・オーストリア・ドイツ）を研修訪問し、参加者の分担執筆により視察報告をまとめた。	B5判・171頁	2,640	81%OFF	¥500
D-033	生物多様性条約資料集		1993	1992年のブラジル地球サミットで採択された「生物多様性条約」「アジェンダ21」「NGO条約」、同年にIUCN・WRI・UNEPが発表した「生物多様性保全のための地球戦略」のほか、サミット前にNACS-Jが開催したセミナーの報告などを収録。	B5判・196頁	2,640	62%OFF	¥1,000
D-034	世界遺産条約資料集3		1994	1993年にNACS-Jが開催したセミナーの報告や日本国内の自然遺産地域の保護管理に関してまとめた提言のほか、「世界遺産条約履行のための作業指針（世界遺産委員会、1993年）」「世界遺産20周年ワークショップサマリー（世界国立公園保護地域会議、1992年）」などを収録。	B5判・138頁	2,640	62%OFF	¥1,000
D-037	IUCN山岳保護地域ガイドライン		1995	1992年に国際自然保護連合・国立公園保護地域委員会が発表した、山岳保護地域の保護管理に関する36の原則と161の指針の翻訳版。	A4判・39頁	1,540	55%OFF	¥700

コード	タイトル	表紙画像	発行年	内容紹介	判型・ページ数	定価 (税込)	割引%	セール価格 (税込)
D-038	第2回 PRO NATURAエコ・ツアー スリランカ自然保護研修報告		1996	観光との自然保護の問題についての研究開発を目的に、行政、観光事業、地域経済、自然観察、教育、ジャーナリズム等の分野の方々に参加を要請し、スリランカ中南部の自然保護区を訪問。参加者の分担執筆により、地域の自然と文化を守ろうとするエコジストの視点から視察報告をまとめた。	B5判・124頁	2,640	81%OFF	¥500
D-040	「21世紀の自然を考える～国立公園の理想像を求めて」講演録		2001	国立公園における保護と利用のあり方と現実的な制度の見直しについてNACS-Jがまとめた提言をもとに開催したシンポジウムのまとめ。知床・早池峰・尾瀬・中部山岳からの現場報告などを題材に、日本の国立公園のあるべき姿を討議。	A4判・75頁	2,200	55%OFF	¥1,000
D-042	日本自然保護協会による意見書・提言書集No.3 1989年～2001年		2001	1989年から2001年3月までにNACS-Jがさまざまな問題に対して提出してきた、意見書・提言・要望書・要請書などを81件収録。数々の意見をとおして、NACS-Jが何を評価し何を問題視してきたのか、「自然保護」とは何をすることなのかを読み取れる。	A4判・233頁	2,200	55%OFF	¥1,000
D-043	山岳自然公園のオーバーユース問題を考える		2002	2001年に開催した「乗鞍岳の明日を考える～山岳自然公園におけるマイカー規制のあり方について（於：岐阜県高山市）」と「早池峰 自然・ふれあい（於：岩手県盛岡市）」の2つのシンポジウムの記録のほか、NACS-Jによる「21世紀の国立公園への提言」の要約を収録。	A4判・67頁	2,200	55%OFF	¥1,000
D-044	愛知万博の環境アセスメントを検証する -21世紀のアセスメントへの提言-		2003	1997年の環境影響評価法施行に先がけて実施された、愛知万博とそれに関連した新住宅市街地・道路開発事業の環境アセスメントを検証し、その結果をもとに開催したシンポジウムのまとめ。それまでの活動の経緯がわかる資料も多数掲載。	A4判・160頁	2,200	55%OFF	¥1,000
D-045	自然環境モニタリング調査の手引き I -入門編- 身近な自然を見つめる目		2005	身近な自然環境の変化を把握するモニタリング調査は、その地域に住む市民こそが主役。初心者でもできる調査手法をまとめたハンディータイプの冊子。	縦17cm×横11cm・60頁	578	48%OFF	¥300
D-047	生物多様性条約資料集 No.1 保護地域編		2009	生物多様性条約の解説と、保護地域の課題や方向性に関する国際的な議論を収録。条約の決議やIUCN国際自然保護連合によるガイドラインも掲載。	A4判・205頁	3,630	72%OFF	¥1,000
D-048	人と自然のふれあい調査はんどぶっく		2010	人々のくらしと自然のかかわりや想いを調べ、マップ化して共有する「ふれあい調査」の理論と実践を、カラー図解でわかりやすく紹介。	A5判・64頁	1,100	55%OFF	¥500
D-049	ココからはじめる 生物多様性地域戦略 市民と育てる、暮らしと自然の未来像 生物多様性地域戦略ガイドブック		2011	各地の自治体で策定が進む生物多様性地域戦略について、戦略づくりのポイントや策定段階ごとに役立つ事例を紹介。	A4判・30頁	1,100	55%OFF	¥500

コード	タイトル	表紙画像	発行年	内容紹介	判型・ページ数	定価 (税込)	割引%	セール価格 (税込)
D-050	自然しらべ2011 チョウの分布 今・昔 報告書		2012	ツマグロヒョウモンやナガサキアゲハなど代表的なチョウ13種を対象に、市民が全国一斉に観察した記録のまとめ。全データの目録も掲載。	A4判・53頁	1,100	55%OFF	¥500
D-051	日本の保護地域アトラス		2013	日本にある保護地域がどのようなものかを、ビジュアルでわかりやすく解説。保護地域の現状について植生の点からの評価も行い、結果をグラフで見やすく紹介。	A4判・60頁	1,100	55%OFF	¥500
D-052	自然しらべ2012 貝がらさがし！報告書		2013	地球温暖化や外来種問題などで注目されている20種の貝がらを対象に、市民が全国一斉に観察した記録のまとめ。確認種の目録も掲載。	A4判・60頁	1,100	55%OFF	¥500
D-053	自然しらべ2013 日本のカメさがし！報告書		2014	ミシシippアカミガメなどの外来種が増える一方、在来のカメが全国的に数を減らしている現状を、市民が全国一斉に観察した記録のまとめ。	A4判・36頁	1,100	55%OFF	¥500
D-054	ココからはじめる 生物多様性地域戦略ガイドブック 地方自治体 実践事例集		2014	自治体職員へのヒアリングなどとおして収集した、地域の特徴を生かした生物多様性地域戦略づくりのためのヒントやノウハウが満載。	A4判・34頁	1,100	55%OFF	¥500
E-051	泡瀬干潟シンポジウム報告書 ～世界の宝 泡瀬干潟を未来の子どもたちに引きつぐために		2003	世界自然保護基金ジャパン／日本野鳥の会／NACS-J 発行 沖縄島中城湾北部にある泡瀬干潟で進められているマリナーリゾート計画に全国の関心を集めたいと、3団体が共同し東京で開催したシンポジウムのまとめ。泡瀬干潟の自然と埋め立ての問題点や干潟生態系の保全のあり方について議論。	A4判・190頁	2,200	77%OFF	¥500
E-054	磯のガイドブック 南三陸町坂本海岸編		2014	南三陸ネイチャーセンター友の会／NACS-J 発行 磯の自然観察に適したフィールド・南三陸町坂本海岸。この海岸で見られる生き物や注意点などを説明した自然観察ガイドブック。	A5判・28頁	1,100	55%OFF	¥500
E-055	愛知ターゲットガイド ～みんなで守ろう！地球といのちの20の約束		2013	国際自然保護連合日本委員会（IUCN-J）発行 生物多様性に関する2020年の世界目標を公式ガイドをもとに編集。愛知ターゲットの20の目標の考え方とその達成に向けた取り組み事例をわかりやすい言葉でくわしく解説。	A4判・60頁	523	43%OFF	¥300